



大船渡市



令和元年11月17日付 3面

2地区で町民文化祭（大船渡市）（別写真あり）



▲来場者が展示された作品をじっくりと鑑賞



芸術文化活動の成果を披露

大船渡町

大船渡市大船渡町の大船渡地区公民館（大和田洋太郎館長）による第18回大船渡町民文化祭が16日、同公民館を会場に2日間の日程で開幕した。住民らの趣味や学習の成果が多数展示され、来場者の目を楽しませている。

開会式では、同文化祭実行委員会の久保田敬吾委員長、大和田館長があいさつし、来場者を歓迎。会場には町内各地域、団体、大船渡小、大船渡北小、大船渡中、海の星幼稚園児から寄せられた手芸・工芸品、絵画、写真など合わせて700点余りが展示され、来場者が町民らの力作を一つ一つじっくりと鑑賞していた。

また、同日は表千家大船渡清和会の茶道教室に通う児童・生徒らがお点前を披露し、来場者をもてなした。

大和田館長は「今年も、それぞれの特技を生かした作品がそろった。文化祭を通じ、作者と来場者の教養・文化の向上が図られれば」と話していた。

17日の開催時間は午前10時～午後3時。



▲末崎町民文化祭展示部門ではドローン映像の上映も

ドローン映像の上映も 末崎町

大船渡市末崎町の町民文化祭は15日から、同町のふるさとセンターで開催中。本年度は地域住民らの力作約750点を展示し、同町などで心の復興事業に取り組む「デジタル公民館けせん」による活動発表やドローン映像も上映している。最終日の17日は、隣接する末崎中学校体育館で舞台部門も行われる。

今年で24回目を迎えた町民文化祭は、実行委員会（委員長・新沼真作末崎地区公民館長）が主催。展示部門は15日に開幕した。

センター内の和室や体育館には、町内の保育園児から高齢者までが手がけた多彩な作品がズラリ。子どもたちの工作や絵画をはじめ、一般の写真、油絵、書、菊花、陶芸、手芸、生け花などが一堂に会した。

このうち、デジタル公民館けせんは、地域住民らも参画する竹とんぼ教室やP C・スマート教室の作品を出品。中でも、末崎小学校の子どもたちといった気仙の自然や文化などを撮影したドローン映像には、来場者らも足を止めて見入り、思い出話に花を咲かせていた。

会場では、婦人会福祉バザーや茶席も実施。新沼委員長は「お願いをしなくとも毎年皆さんが自動的に出品をしてくれて、文化祭が定着していると感じる。町民一丸となった文化祭をぜひ見に来ていただきたい」と話し、来場を呼びかけている。

17日は展示部門が午前9時～午後0時30分、舞台部門は午前9時30分から開かれ、13演目の発表を予定している。